

## 取組事例 地域商社の設立や士幌高校との連携による地域経済の活性化(士幌町)

士幌町では、6次産業化の支援や新商品の開発などを担う「株式会社CheerS(チアーズ)」を設立し、士幌高校との連携した取組の展開などにより、人材育成や地域の活力向上が図られている。

### 関連KPI

KPI	基準値 (H26)	実績 (H27~H29)	目標値 (H27~H31)	進捗率 (%)
商品化された特産品の数	0品	9品	8品	113%

### 取組事例

#### 「株式会社CheerS(チアーズ)」の設立

- 平成29年度に官民共同で立ち上げた支援委員会(事業推進組織)を法人化し、平成30年4月1日に設立(地方創生推進交付金事業)
- 地元の食や農業を通して付加価値を創出する人材の育成を柱として、生産、加工、飲食などの分野において新たな取組みを展開することにより、未来への新たな商流を生み出し、若者が活躍できる士幌町を創出

#### 士幌高校との連携

- 地元の士幌高校との連携を強め、「地域資源」と「意欲ある人材」という2つの社会資本をベースに産官学と連携しながら、商品の企画販売、マーケティングなどを実施(地方創生推進交付金事業)
- 士幌高校の進路等の状況・実績
  - ・新卒者の地域内雇用者数・・・2.6倍の13名(28年度比較)  
→CheerSでも同校から1名採用、看板商品の企画製造担当として活躍
  - ・進学者数・・・60%UPの27人(帯広畜大、農大、高崎経済大学など)
  - ・入学者数(30年4月)・・・管内2間口校の中で最高の68人
  - ・グローバルGAP認証取得・・・道内で初めて、全国で2番目

#### 加工品・商品開発の取組や事例

- 高校を中心に研究会を設置し、大学・企業・団体と連携した商品開発、製造、PR、マーケティング学習を実施。(地方創生推進交付金事業)
- 商品は、(株)CheerS、インターネット(amazon)、道の駅(民間企業)、商工会等を通じて販売しており、地域内所得の向上と経済の活性化に大きく貢献している。
- 年間売上高 2,300千円(シーベリーソーダ、ヌプカの雪解け)



高校生が地域資源に新たな付加価値  
「奇跡の果実」を利用「シーベリーソーダ」



「幻のヨーグルト」と呼ばれる  
新食感洋生菓子「ヌプカの雪解け」